

日本損害保険協会 から消防車の寄贈 を受ける

市は1月29日、一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付き軽消防車の寄贈を受け、市消防本部で就役式を行いました。新しい消防車は消防団須波分団に配備され、道幅の狭い場所や急傾斜地での消火活動で活躍することが期待されます。



▲車両の説明を受ける消防団須波分団の皆さん

寄贈された消防車は、軽自動車ベースの4WD車で、自動で給水できる小型動力ポンプを搭載しています。小回りが利き、狭い道や急な登り坂でも走行できるため、これまで進入が困難だった現場でも消火活動を行うことができます。メーカーから説明を受けた須波分団の消防団員は、「訓練を重ね

て災害発生時に被害の軽減を図りたい」と話しました。

市消防本部では、市民の皆さんが安全・快適に住み続けられるまちをめざし、消防装備の充実を図るとともに、消防団や自主防災組織などの地域住民の皆さんと一丸になって防災・減災に取り組んでいきます。

消防本部警防課
☎0848・64・5924

三原東高校で選挙の 出前講座を開催

市選挙管理委員会事務局は1月27日、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられることを受け、三原東高校で選挙についての出前講座を行いました。市選挙管理委員会が高校生を対象に選挙の出前講座を開くのは今回が初めてです。

出前講座は同校の要請を受けて実施し、新年度中に18歳となる2年生約150人が受講しました。職員が選挙の意義や歴史、投票の方法について、クイズなどを交えながら解説。生徒は実物の記載台と投票箱を使って模擬投票も行いました。

4月に18歳になる小出友佳こいでともかさんは、「選挙についてもっと関心を持たなければいけないと思いました。候補者の話



▲模擬投票で投票箱に1票を投じる生徒

をしっかりと聞いて、投票する人を決めたいです」と話しました。

選挙権年齢の引き下げにより、市では有権者が約1,700人増える見込みです。市選挙管理委員会では、若者の皆さんが選挙や政治について考える機会を増やすため、選挙出前講座を実施していきます。

選挙管理委員会事務局
☎0848・67・6140

旧神田小に米粉製造 工場の進出が決定

大和町の旧神田小学校跡地に増田製粉株式会社が米粉を製造する新工場を建設することが決まり、1月25日、同社と広島中央農業協同組合（JA広島

中央）、市の三者で立地協定を締結しました。

増田製粉は、菓子などの原料となる米粉などを製造・販売しています。大和町が米粉の原材料となる良質な米の産地であることや、交通の利便性から配送体制の強化ができることなどから進出を決めました。

調印式で、天満祥典市長は「市内への企業進出の先駆者として、地域活性化に大いに貢献していただきたい」と話し、同社の増田裕典社長も「地元の方々としっかりと協力して製造に力を入れたい」と応じました。

市では、今後も積極的に企業誘致を進め、地域経済の活性化に取り組んでいきます。



▲協定書に署名する天満祥典市長と増田製粉の増田裕典社長(中)、JA広島中央の徳永邦雄組合長(右)

農林水産課
☎0848・67・6077